



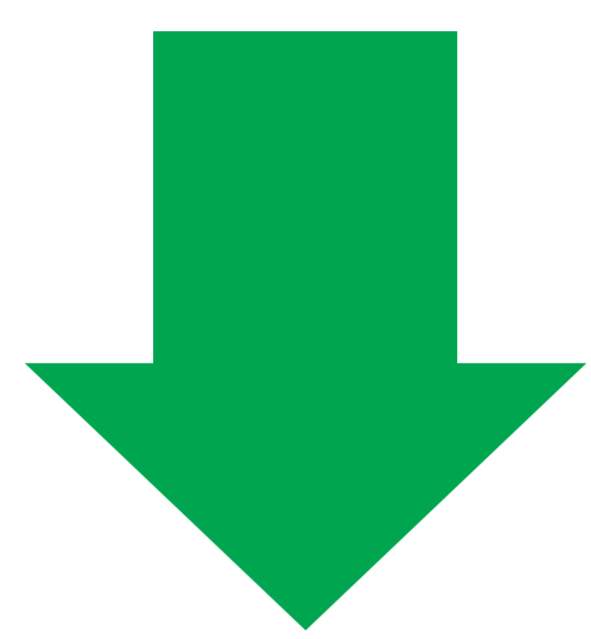
# 「うちエコ診断」データで見える 地域家庭部門の排出実態

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット(家庭エコ診断制度運営事務局)

## 1. はじめに - 課題

地域の家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出削減の推進には、

- 世帯ごとの CO<sub>2</sub> 排出実態の把握
- 排出実態に基づいた施策導入 が重要



しかし・・・

- 統計データからの推計では難しい
- 地域の暮らし方や世帯構成を把握できない

## 2. 方法 - 解決策

うちエコ診断の実施により、  
光熱費とライフスタイルの情報※から  
世帯ごとの CO<sub>2</sub> 排出実態の見える化 が可能

### うちエコ診断による推計の流れ

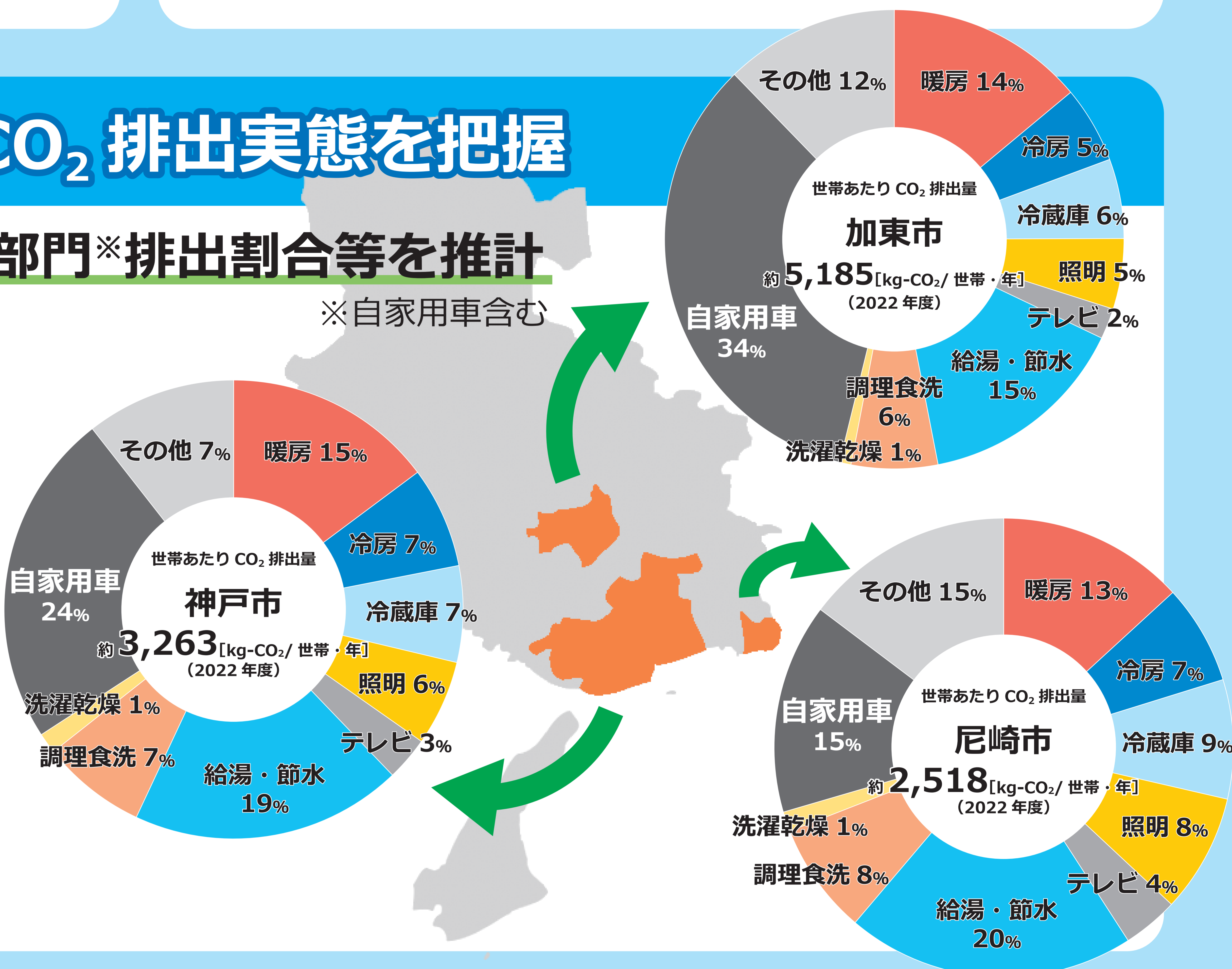
- 世帯人数別の用途別 CO<sub>2</sub> 排出量を集計
- 世帯人数別用途別の CO<sub>2</sub> 排出原単位の作成
- 国勢調査データの世帯人数別世帯数を乗じる

※冷暖房の使用状況や給湯設備の使用状況などに関する設問

## 3. 結果 - 地域の家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出実態を把握

### 兵庫県神戸市、尼崎市、加東市の家庭部門※排出割合等を推計

- 世帯人数構成に応じて、1 世帯あたりの平均 CO<sub>2</sub> 排出量も算出
- 家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出割合が多い順に「自家用車、給湯、暖房」となった
- 比較すると郊外部に位置する加東市は、自家用車からの排出割合が多い
- 同一県内であっても、地域によって CO<sub>2</sub> 排出実態は異なる



## 4. 今後 - 地域の CO<sub>2</sub> 排出実態把握に「うちエコ診断を活用

### うちエコ診断にできること・わかること

- 省エネ機器の使用実態や住まいの状況について診断時にデータを取得
- 市民の関心が高い、光熱費についても平均で 22% の節約効果(2022 年度結果)
- 100 件程度のうちエコ診断結果があれば家庭部門の用途別排出割合等の推計が可能
- 地域の家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出実態を把握することで、具体的な施策を検討可能



補助事業・キャンペーンなどの効果測定にも使える

### うちエコ診断で得られるデータの一例

- ✓ 受診者情報(お住まい、世帯人数など)
- ✓ うちエコ診断実施前の用途別 CO<sub>2</sub> 排出実態
- ✓ 診断実施による「CO<sub>2</sub> 削減効果」、「光熱燃料費削減効果」
- ✓ 対策実施後※の「CO<sub>2</sub> 削減効果」、「光熱燃料費削減効果」
- ✓ 選択数の多い対策項目

※およそ 3 ヶ月後に事後調査を実施

